

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さくらんぼ		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 19日		～ 2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 9月 19日		～ 2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個人の特性に沿ってペースを守り無理なく支援をしている。	・スタッフ間でのコミュニケーションの機会を充実させ、統一した支援を心がけている。また、利用児個人の変動が予測される日などはテーブルの配置や部屋の使い分けなど、時と場合によって対応できるようにしている。	・施設的环境整備も行いつつ、1対1でも対応できるように職員体制の充実を図っていきたい。
2	・放課後等デイサービスを2事業運営しているので、連携を図りながら、利用児の交流の場を提供できる。	・利用児、保護者同士の交流の機会を提供として合同の企画を実施している。(親子イベントや季節行事など) また、定期的に相互の施設を訪問している。	・様々な交流の機会を提供できるように、利用児、保護者からの要望を汲み取りながら取り組んでいきたい。
3	・法人内に就労継続支援事業所があり、見学などを通して様々な人との交流や実際の作業を体験できる。	・学校の長期休暇などを利用して作業体験を行っている。 ・実際の作業に役立てるように指先のトレーニングを意識したプログラムを用意している。	・生活スキルアップを意識した個別活動に加え、将来の就労を目指した作業訓練を充実させていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用状況などにより活動スペースの確保が困難な場合がある。	・施設自体の面積が狭いことで、安全性の面から制限をかけるしかない。	活動の内容を、工夫しながら計画していきたい。また、外部施設(体育館や公園)を活用していきたい。
2	・地域との交流、地域の子どもと活動する機会が不足している。	・参加できるイベント等が充実していない。また、地域の他の子どもとの活動が精神的な負担になることも考慮している。	・子どもたちの精神的な負担にならないような企画を考えるとともに、地域のイベントや地元企業様のお借りして、子どもたちが普段の中で関わる機会がない世代の方々と活動する機会を提供できるように取り組んでいきたい。
3			